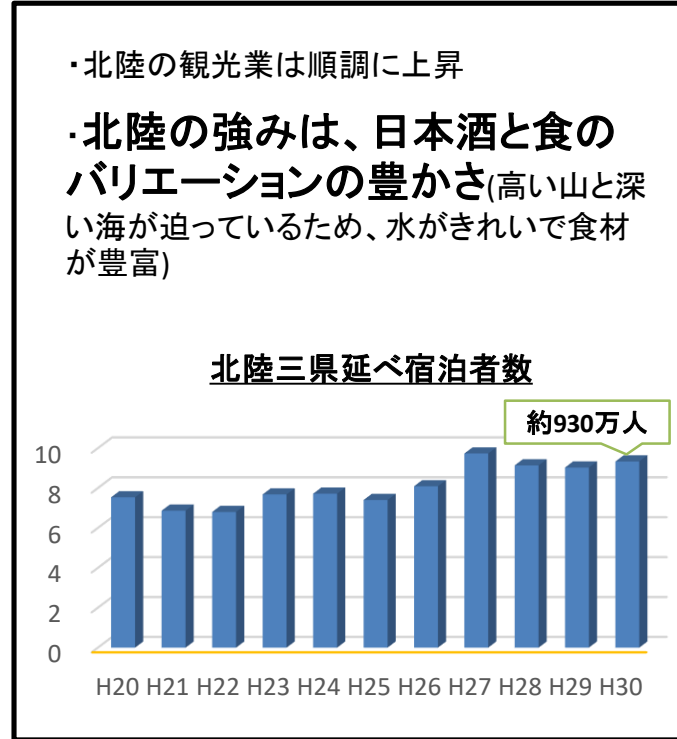
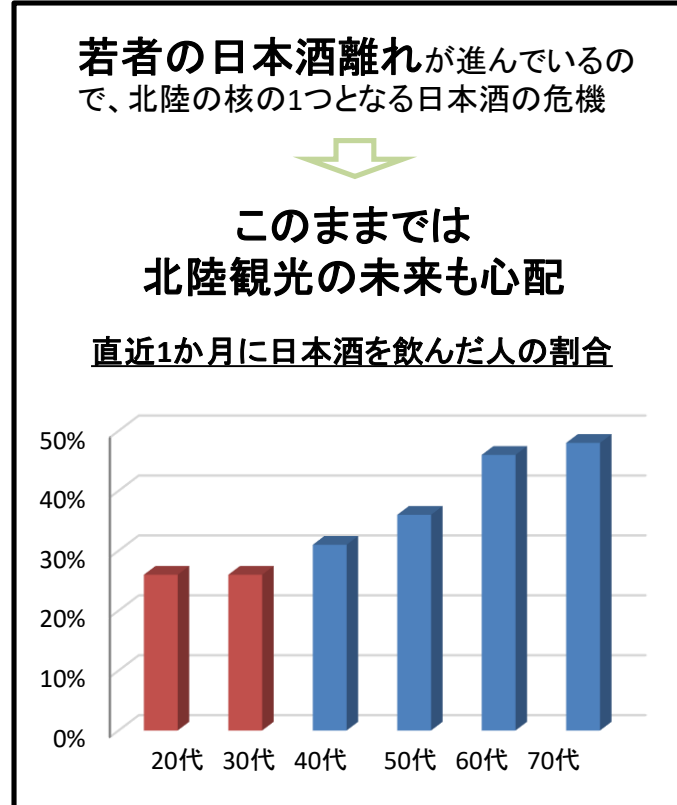


チーム名	CUI	大学・学部	中京大学 国際英語学部	北陸ステージ
プラン名称	「夕暮れおしゃべり酒場認定店制度で、日本酒と北陸観光の未来を拓け」			
リーダー名	鯉江紗衣	テーマ	北陸ならではの資源を活かした広域周遊型の「観光まちづくり」	本選出場 観光庁長官賞、JTB賞
指導教職員名	伊藤清道			
メンバー名	大井愛加、小峯和真、佐藤優佳、高橋まゆ、成田佳乃、西口拓真			

1. 北陸観光の現状



2. 問題意識



3. 要因分析/解決策



4. 北陸の観光資源調査



5. 私たちの提案:具体的な解決策と実現計画

「夕暮れおしゃべり酒場」認定店制度

・既存店の暇なHappy Hourを使い、おしゃべりに最適な場所で女性を惹きつけ、いいお酒と意外なおつまみを体験してもらう
 →おしゃべりを楽しみたい若い女性の北陸観光客増加
 →いいお酒と食体験を通じリピーター増加を実現
 ・認定店は、北陸物語の女子旅ルート沿いを中心に展開

17:00 ~ 17:45	女子好みのお酒と意外なおつまみでおしゃべりを楽しんで頂く	全体の運営	NPOを設立
17:45 ~ 18:00	北陸の本格銘酒と発酵食品で日本酒の醍醐味を体験して中締め	おしゃべり酒場の認定	公募の上、専門家のアドバイスも交えNPOが認定(一本釣りも実施)
その後	・引き続きお店自慢の料理を楽しまれるもよし ・ほろ酔い気分で散歩されるもよし (別の「おしゃべり酒場」もお忘れなく。また、新しい北陸ならではの個性あるお酒と食に出会えること確実。)	提供するお酒の選定	各県酒造組合連合会に候補リストの提供を依頼 → リストの中から、各酒場がお酒を決定
おみやげ	お帰り際に酒枧のピース1つをプレゼント→おしゃべり酒場を5店舗周遊し、ピースを集め枧を完成させたら、幻の日本酒(酒店では買えないお酒)が飲める	提供するおつまみの選定	北陸3県民から「意外なおつまみアイデア」を募集して候補リストを作成 → リストの中から、各酒場がおつまみを決定

提案の期待効果	<ul style="list-style-type: none"> ・当初観光客増最大1万8千人(客1組6人 x 15店 x 200日稼働) ・更に、営業時間/店舗数の拡大を前提に考えると最大10万人の観光客増のポテンシャルがあると推定(右表) ・体験(枧による周遊効果で更に体験者増加)によるリピーター増加 ・お酒、食材の通販アップ 	<table border="1"> <tr> <th>北陸隣接5県のH28観光入込客数</th> <th>うち20、30台女性</th> <th>うち「おいしいもの」目的</th> <th>女子大生アンケート「おしゃべりあるなら、そちらに」</th> <th>歩留り</th> <th>おしゃべり酒場による観光客増:①x②x③</th> </tr> <tr> <td>(千人)</td> <td>(千人)</td> <td>(千人:①)</td> <td>(%:②)</td> <td>(%:③)</td> <td>(千人)</td> </tr> <tr> <td>23,041</td> <td>3,087</td> <td>454</td> <td>65%</td> <td>33%</td> <td>100</td> </tr> </table>	北陸隣接5県のH28観光入込客数	うち20、30台女性	うち「おいしいもの」目的	女子大生アンケート「おしゃべりあるなら、そちらに」	歩留り	おしゃべり酒場による観光客増:①x②x③	(千人)	(千人)	(千人:①)	(%:②)	(%:③)	(千人)	23,041	3,087	454	65%	33%	100
北陸隣接5県のH28観光入込客数	うち20、30台女性	うち「おいしいもの」目的	女子大生アンケート「おしゃべりあるなら、そちらに」	歩留り	おしゃべり酒場による観光客増:①x②x③															
(千人)	(千人)	(千人:①)	(%:②)	(%:③)	(千人)															
23,041	3,087	454	65%	33%	100															
提案の新規性	<ul style="list-style-type: none"> ・既存店のHappy Hourを活用しようという着想 ・「二日酔いしやすい」等の問題解決型から、「日本酒の良さを知ってもらう」に発想転換したこと ・「いいお酒」だけでなく、「いい場所」「いい食」との組み合わせに着目したこと 																			